

抄録会

2016年12月26日

症例提示

下腿浮腫、蛋白尿、体重増加を呈した71歳
男性

症例

【主訴】蛋白尿、体重増加

【現病歴】

高血圧症以外に特記すべき既往のない71歳男性。

検診は現在まで受けたことがない。

2014年12月末頃に両手関節と両膝関節腫脹あり、他院整形外科
で関節リウマチ疑いでリマチルとPSLを内服していた。

2015年7月下旬全身浮腫体重増加10kgあり、8月7日近医から
他院腎臓内科へ紹介され、TP/Alb 5.2/1.8mg/dL、
BUN/Cr20.2/1.02mg/dL、総コレステロール 368mg/dL、蛋白尿3
g、尿沈渣RBC1-4/HPFよりネフローゼ症候群が疑われ、早急な入
院を要した。入院後、尿蛋白は減少し、浮腫も軽減した。

- 当院入院中の精査として、P-ANCA、C-ANCAは陰性、抗核抗体陰性、抗GBM抗体陰性、補体正常、血清電気泳動にてM蛋白は認めなかった。
- 蓄尿でSelective Index: 0.178で中等度選択性であった。ネフローゼ症候群の鑑別として第一に年齢と昨年12月からの緩徐に進行していることから膜性腎症を挙げる。また、膜性腎症の原因として関節リウマチ、リマチルによる薬剤性なども可能性に挙がる。

入院前経過

	血清Cr	BUN	潜血	蛋白	eGFR
2014/12/17	0.68	9.8			
2015/02/04	0.76	12.6		76.1	
2015/05/20	0.71	14.6		81.0	
2015/07/22	0.90	18.1		61.6	
2015/08/06	1.02	20.2	2+	3+	53.3

- 体重変化 入院時76kg、BMI 27.63

【既往歴】

詳細不明 高血圧症

55歳 緑内障